

Table 1. 水素定量結果 (PPM)

試料番号	真空加熱法 (975°C)	同 左 (650°C)	スズ溶融法
1	1.28	1.26	1.17
2	1.50	—	1.38
3	1.36	1.40	1.45
4	3.33	3.20	3.14
5	1.20	1.20	1.31
6	1.24	—	1.10
7	3.54	—	3.61
8	0.82	0.80	0.86
9	1.30	1.38	1.49
10	1.10	1.13	1.22
11	1.18	1.07	0.97
12	1.48	—	1.33
13	1.59	1.68	1.78
14	1.34	—	1.17
15	1.66	—	1.82
16	1.47	1.41	1.33
17	1.37	1.32	1.26
Std dev.*	±0.05	±0.04	±0.14

に挿入する。抽出したガスはスズ溶融法と同様に処理して水素を定量する。

試料採取量はいずれの場合も 2~3g である。抽出時間は実験の結果スズ溶融法および 975°C の真空加熱法では 15 分間、650°C の真空加熱法では 30 分間で充分であつた。

試料としては Cr-Mo-V 鋼および Ni-Mo-V 鋼を用い Table 1 に示す結果が得られた。従来の幾つか報告とは反対に 650°C の真空加熱法の結果は他の二法の結果と等しかつた。真空加熱法はスズ溶融法に比し精度がすぐれているばかりでなく、装置も簡単であり、操作も便利である。

(若松茂雄)

* 水素含有量 0.7~1.8 PPM の範囲の試料についての結果である。

(1595ページよりつづく 国内最近刊行誌参考記事)

大阪府立工業奨励館報告 No. 24 (1960)

コールドホッピングの研究(第1報). 岡本健二, 他...4
低炭素鋼の急熱急冷に関する研究(第4, 5報).

山中久彦...13

金属の高温変形に関する研究(第1報). 浅村 均, 他...24

各種添加剤による球状黒鉛鑄鉄の収縮巣について.

中村 弘, 他...33

熱管理 12 (1960) 8

大型鋼塊加熱炉の操業実績. 深井清治, 他...10

—会社刊行誌—

日本鋼管技報 No. 18 (1960)

第2高炉の建設ならびに火入れについて. 林 敏, 他...1

押湯付き大型キルド鋼塊の内質改善に関する造塊作業の変遷. 板岡 隆, 他...10

平炉における R-N iron 使用について. 松代綾三郎, 他...18

鉄鋼の高温振りによる加工性試験について.

両角不二雄...34

軟鋼の時効性について. 久保寺治朗...68

新三菱重工技報 2 (1960) 3

ミーハナイトノジュラ鑄鉄の疲れ強さおよび耐摩耗性に関する研究. 富田昌治...64

品川技報 No. 8 (1960)

メルツ式構造の築造と操業実績. 渡辺省三, 他...3

塩基性キ ュボラの研究. 立岩一男, 他...19

耐火煉瓦に対する一酸化炭素の影響について.

林 武志...77

メルツバーレンス平炉の発展. F. BARTU...102

電気製鋼 31 (1960) 3

電気弧光溶解炉の連続温度測定について(1).

八巻有道...125

ステンレスばね鋼線の研究(第1報). 藤原達雄, 他...130

— 31 (1960) 4

鉛快削鋼の研究(第3報—2). 浅田千秋, 他...183

特殊鑄鋼車輪の研究. 遠藤邦彦, 他...190

電気弧光溶解炉の連続温度測定について(2).

八巻有道...200

最近の大型アーク炉の諸問題について. 林 達夫...206

日本製鋼技報 No. 5 (1960)

ファイア・クラックの研究(第1報)渡辺十郎...13

真空鑄造法の概況(第3報). 小野寺真作, 他...23

鉄鋼におよぼす酸素の影響(第1報). 前川静弥, 他...29

層成高圧筒について(第2報). 武田泰政, 他...33

高バナジウム高速度鋼に関する研究. 石塚 実...39

鉄鋼中の微量ホウ素迅速定量法. 前川静弥, 他...55

米国車両部品の材質について. 渡辺 淨...69

日立評論 42 (1960) 9

鑄鋼の疲れ強さにおよぼす鑄肌の影響. 吉武博之...1022

真空アーク溶解せる Nimonic 80 A の諸性質について. 九重常男, 他...1027

— 42 (1960) 10

二重分塊圧延設備. 原口成人, 他...1041